

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成23年度～平成27年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（あばしりとうぶ） 網走東部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 網走南部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>網走東部森林計画区は、北海道の北東部に位置し、網走・湧別川広域流域の東側のオホーツク総合振興局管内の2市9町で構成されている。流域面積は、約600,000haで全道面積の7%に当たり、網走南部森林管理署は、このうち約135,000haの国有林を管轄している。</p> <p>当管轄区域は、水源かん養を目的とした保安林を主体に、全体面積の9割が保安林に指定され、多くの市町村の水源や、沿岸部での漁場環境の保全等に重要な役目を担っている。</p> <p>また、豊富な観光資源に恵まれ、知床森林生態系保護地域の設定をはじめとして、知床国立公園など多くの自然公園に指定されていることからレクリエーション・保健休養の場として多くの人々に利用されている。</p> <p>一方、従来から豊かな森林資源を利用して林業・木材産業が発達しており、特に木材加工では建築用材等の生産が盛んであるほか、地域の自然条件、資源を活かした農業や水産業が重要な産業となっている。</p> <p>このようなことから、自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養など森林の持つ公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高く、適切な森林整備を推進することが求められている現状にある。</p> <p>このため、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p>																						
	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">主な事業内容</td> <td style="width: 20%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">340 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">15,570 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">83.2 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">16.1 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">3,235,548 千円</td> </tr> </table>	主な事業内容	森林整備	更新面積	340 ha			保育面積	15,570 ha		路網整備	開設延長	83.2 km			改良延長	16.1 km	総事業費			3,235,548 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	340 ha																				
		保育面積	15,570 ha																				
	路網整備	開設延長	83.2 km																				
		改良延長	16.1 km																				
総事業費			3,235,548 千円																				
費用対効果分析	総 便 益（B）	30,643,721 千円																					
	総 費 用（C）	3,822,989 千円																					
	分析結果（B / C）	8.02																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

整理番号 4

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：北海道森林管理局

事業実施地区名：網走東部森林計画区（あばしりとうぶ）

網走南部森林管理署

（都道府県名：北海道）

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	5,471,040	
	流域貯水便益	2,047,678	
	水質浄化便益	3,495,760	
山地保全便益	土砂流出防止便益	12,095,617	
環境保全便益	炭素固定便益(樹木固定分)	1,808,021	
	炭素固定便益(森林土壌蓄積分)	582,754	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	988,941	
	木材利用増進便益	694,432	
	木材生産・確保増進便益	3,065,928	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	387,859	
	森林管理等経費縮減便益	5,691	
総便益 (B)		30,643,721	
総費用 (C)		3,822,989	
費用便益比 (B/C)		8.02	

森林環境保全整備事業 網走東部森林計画区(北海道) 概要図



対象計画区拡大図

